

平成20年度後学期 TA 活動報告書

TA	2回生	学校臨床心理専攻	臨床心理学コース
TA 採用教員名	相模健人		
TA 採用授業科目名	心理検査法		
採用延べ時間数	授業科目 A : 24 時間、		授業科目 B : 時間

【TA 活用内容】

心理検査法においては「心理検査の概略、歴史、効用と限界、使用倫理を踏まえた上で、実際の心理検査を行い、実習を行う。それらの検査実習を通じて、心理検査について体験的に理解を深める。自らへの心理検査の実施を通じて、被験者側の心理について体験的に学んだり、自分について振り返る機会ともなる。」ことが目的となっており、心理検査の実習が主となる。この心理検査の実施、結果整理については専門的知識と経験が必要であり、また膨大な資料が出るため、その整理が必要であり、またその活動も教育につながるものであることであるため。TAの補助が必要である。また心理検査を実施する臨床心理士を目指すTAにとっても有益なものになることが考えられる。

【TA 活用による教育的効果】

TAが、授業内で心理検査補助、結果整理、解釈の補助を行うことにより、授業者一人ではとてもまかないきれない学生一人一人に指導することができ、学生の心理検査についての理解が深まった。TA自身も授業ごとに心理検査について学び直し、より適切な助言をすることが可能となり、心理検査についての理解を深めた。

【TA 活用上の今後の改善点・課題等】

TAへの心理検査についての資料の提供、授業前での十分な打ち合わせ、より活発なTAの授業内での活用が求められる。